

大会賞（本部選者特選）

今井 聖選

皺の手と生まれたての手と日向ぼこ

福島 古市 文子

一本の百合足して束ととのひぬ

青森 郡川 宏一

ほんたうの顔知らぬ子が卒業す

岩手 三角 尚子

語り部の中学生や春の海

岩手 木関 偕楽

權 未知子選

恋猫の足も洗はず眠りけり

宮城 兵藤 康行

ライオンの仔の名を募集花は葉に

宮城 松谷 直美

町中がしづかに濡るる雛祭

岩手 二階堂光江

淋代に白き貝殻山背寒

青森 中村しおん

角谷 昌子選

子供の日原発のこと武器のこと

宮城 遠藤 克子

冬山の崖に貼りつく保線員

山形 伊藤 厚子

地震跡やこぶし久遠の白灯す

青森 奥田 卓司

雪の夜や子牛にぬくきおからの餌

福島 古市 文子

佐怒賀 直美選

病む母の低き枕や柿の花

福島 湯田 一秋

鍵穴の軋む校舎や啄木忌

岩手 古川 制子

十の蔵つなく飛石棕櫚の花

宮城 佐野 享保

草先に地球の色の糸蜻蛉

宮城 城出 栄子

選者賞（地区選者特選）

木村秋湖選

しばらくは月に親しむ代田かな

宮城 佐野 享保

母の日は仏花を少し華やかに

秋田 三上乃婦子

石畳崩れし古道木下闇

山形 志鎌恵美子

小野 寿子選

畦草の刈りたたまれし匂かな

青森 鈴木志美恵

風が風押してうねりぬ青田波

秋田 小坂 良一

母の日は仏花を少し華やかに

秋田 三上乃婦子

草野 力丸選

カンナ燃ゆ防空壕の在りし辺に

福島 佐久間秀男

汚染水黙つて飲むか夏の海

福島 石田てい子

世の戦火絶へる事なき霾ぐもり

山形 伊藤小百合

佐藤 景心選

しばらくは月に親しむ代田かな

宮城 佐野 享保

青岬灯台に馬現はるる

青森 田端 千鼓

ランドセルより大きな笑顔入学す

青森 三野宮照枝

園部 落郷選

初蝶に話題の変るベンチかな

福島 柳沼 好子

真つ青な海と空あり寒早

宮城 高宮 義治

逃げ水や少女天使となりて舞ふ

秋田 塚本 佐市

岩谷 塵外選

墨磨りて満たす硯の春の海

福島 佐久間 阜

春雨や会津木綿の箴の音

山形 庄司 芳彦

竹の秋築百年の梁の艶

青森 雪田 樹里

白濱 一羊選

夏草やダックスフントが歩かない

福島 御代田ハツ

金魚飼ふ長き余生の道連れに

秋田 保泉 早笛

弾かれてあめんぼの恋終りけり

福島 佐藤 安憲

及川 永心選

登山地図折り目辺りが八合目

福島 高宮 章一

地図を買ひこれからのこと春日和

福島 佐藤 七重

喧嘩風酒吹つけて送り出す

青森 佐藤 幸子

二階堂 光江選

共同の蟹の作業場夏燕

宮城 酒井美代子

野を広げ空を広げて燕来る

青森 水生けいこ

水中花水動かさず開きけり

青森 西川 無行

坂内 佳禰選

罎を入れて卵白泡立つる

山形 秋場 洋子

百圓の啄木・賢治曝書せり

青森 小笠原聖子

鴟高音月山晴れとなりにけり

山形 大江 洋子

小林 里子選

煤光りの庫裡の韋駄天日雷

宮城 屋代ひろ子

安積嶺は風の源流幟立つ

福島 吉田キヨ子

まつろわぬものを祀りし碑も灼くる

岩手 佐々木清志

高宮 義治選

ねぶた祭どこかで志功跳ねてをり

青森 今 順子

我が文も姉の遺品や小鳥来る

福島 齋藤万亀子

鶉高音月山晴れとなりにけり

山形 大江 洋子

鈴木 正子選

津波跡飯の住まひのチューリップ

福島 君島 忍

漁夫の兄太平洋に年越せり

福島 古市 文子

喧嘩風酒吹つけて送り出す

青森 佐藤 幸子

伊藤 寛選

早苗饗の止め椀大きあんこ餅

福島 古市 文子

卒業や恩師の踊る安来節

山形 猪俣 洋子

雪の夜や子牛にぬくきおからの餌

福島 古市 文子

牧 静選

鞭先に御神旗からむ野馬祭

宮城 岡本 幸治

万緑や師は月山に帰依したり

山形 上林 千代

下校の子代わりばんこに仔猫抱く

岩手 郡司 山吹

橋本 研二選

赤頬つぺたつた一人の新入生

宮城 兵藤 康行

この村の最後のひとり卒業す

福島 古市 文子

蝌蚪生まる限界村に医師来る

青森 小川ひとし

横山 節哉選

すずしさや等間隔の竹の節

福島 村田 永子

日永かな竹おどらせて籠を編む

福島 西牧トキ子

お岩木は天空に座し植田澄む

青森 鈴木志美恵

古市 文子選

野馬追の初陣門に塩を盛る

福島 伊藤 裕通

薬膳の重湯八十八夜寒

宮城 明石 峰雄

地震十二年砂に根を張る母子草

岩手 沖田 誠子